

志塾フリースクール

l'avenir

～ ラヴニール通信「ラヴ・ノート」 第2号 ～

● ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ もくじ ○ ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ ●

活動についてのご報告 (2011 年6月から 2011 年 10 月)

Voice —不登校を経験した立場として—

伝言板

編集後記

● ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ ● ○ ○ ●

こんにちは、ロコです。

いやあ、今年の夏も暑かった！
そして台風の襲撃。各地で大きな被害が
出ました。今年は本当に自然災害の多い
年、自然の前に人間の無力さを痛感して
います・・・。

さて、今年の夏は、皆様に支援して
いただいたお金で、ちょっと設備を改良して
みました。その様子も含めて、ラヴニール
での活動報告をさせていただきます。

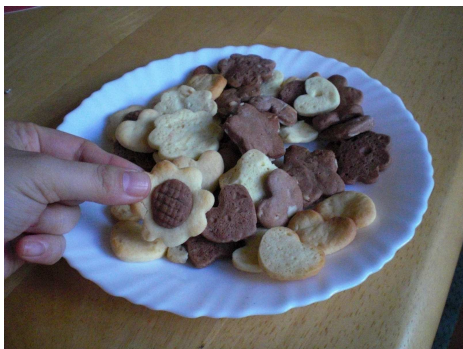
活動についてのご報告

○ 日常的に ○

ラヴニールでの日常は、相変わらずのんびりま
ったり、という言葉がぴったりでしょうか。

最近では、参加者の子とのおしゃべりに花を咲
かせたり、趣味について一緒に共有したりしてい
ることが多いです。

手作りお菓子の差し入れがあることも☆



おいしかった☆

○ お泊まり会 ○

「お泊まり会がしたい！」
との参加者の声を受けて、開催しちゃいました、
お泊まり会。「フリースクールみなも」からもスタッ
フ・参加者が少し来て、いつもよりもちょっと賑や
かなときを過ごしました。



ミサンガ編みを教えあいっこ

お泊まり会中は、シチューをつくったり、遅くまで
起きていて話し込んだり。



ただいま調理中☆

TRPG の体験もさせてもらいました。TRPG はほ
ぼ初体験の私・・・、いろいろと教えてもらいつつ
やりました。

翌日はお昼で解散となりました。

お泊まり会に食材の差し入れなどもあって、お

いしくいただきました。ありがとうございました☆

(2011年10月)

○ 他団体との交流 ○

お泊まり会の共催もそうですが、他の団体さんと一緒にイベントを共催できたら、ラヴニールだけではわからなかったことに気づけたり、共有できたり、メリットがあるように思います。

スタッフ同士での交流をはかる動きはわずかずつながりありまして、定期的に交流会をしたり、「こんなときってどうしました?」「物を譲ってほしいのですが(または譲りたいのですが)、誰かいませんか?」などのやりとりをしたりしています。

協力できることは協力しあって、お互いによりよいものとなれたらな、と思っています。

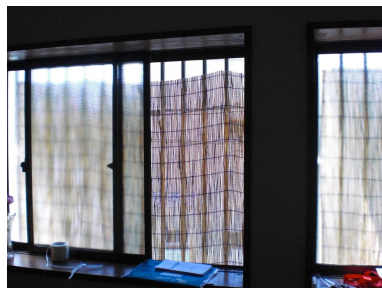
ふりー！すくーりんぐのサイト

<http://freeschoolring.yukihotaru.com/>

○ 暑さ対策になるかな? ○

さて、前回通信等で募集させていただきました賛助会費ですが、夏でも快適に過ごせるラヴニールを目指して、集めさせていただきました。

まずはリビングの窓に、このようにすだれを設



置させていただくことができました。日中の日の差し込み具合が少し暗くなったけど、それはつまり、

直接差し込む日差しを拡散できている、ということ…。これで、日射しによって中から暖まってしまう現象は、ほんの少しながら軽減することができたでしょうか。

あとは、他の部屋にも設置すること、建物の外から暖まってしまう現象への対策、といったところですが、ラヴニールがある建物の1階が他店ということもあって、これについては少々難しそうです。

賛助いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

○ その他イベント、会議など ○

1 泊交流会

～まっくろくろすけにて～

デモクラティックスクール「まっくろくろすけ」にて、1泊交流会がありました。

当日は、講座あり、交流会あり、カードゲーム大会あり。カレーや釜焼きのピザをご馳走になり、大自然の中でとても充実した、楽しい時間を過ごさせていただきました。暑いことは暑いんだけど、窓を開けっぱなしにしていたら風が入ってきて、それがまた、心地いいのなんの！



ピザづくり中☆

ときどき大きな黒い虫が入ってきたけど…。きつと一緒に講座を受けたかったんだよね☆

まっくろくろすけの皆さん、本当にありがとうございました☆

(2011年7月)



近くには山、そして田んぼ
田んぼにはおたまじゃくしがいたそうな
夜には星がキレイでした

まっくろくろすけさんのサイト
<http://www.geocities.jp/makkurohp/>

登校拒否を考える 夏の全国合宿 2011 in 高知

毎年恒例行事として参加している、登校拒否を考える夏の全国合宿。今年は高知での開催でした。今回会場となった三翠園は、近くに史跡が多く立ち並ぶ場所。幕末の歴史好きにはたまらない場所でした。



合宿参加前に立ち寄った桂浜にて

ここで1泊2日、ほぼ缶詰で、講演や分科会、シンポジウムなどが開催されるのですが、例年だと少なくとも600名前後いる参加者が、今年は300名前後と若干少なめの、こじんまりとした夏

合宿でした。もちろん今回の合宿にも子ども向けの企画はあったのですが、この後子どもたちメインの合宿があったので、みんなそっちに照準を合わせたのかしら。

来年の開催地は北海道だそうです。

(2011年7月)

REAL Voice ～「子どもへの暴力」生の声を聞く～

APIS 主催の、「REAL Voice ～『子どもへの暴力』生の声を聞く～」に参加してまいりました。

詳しい内容は、APIS のサイトを見ていただくとして・・・、このイベントで使用されていた手法「生きている図書館」の「本」の役として、参加させていただきました。

ここからは私個人の言葉で書くので、APIS さんが唱えたイベント趣旨とはちょっと変わってしまうかもしれませんが、ご了承ください。（そのため、表現不足も多々あるかと思われます）

人・物事に対して差別や偏見を抱くとき、それは、多くが「思い込み」から発生しています。「○○って△△だからなんでしょう？」と、どこから降ってわいたかわからないけど、そんな偏見は、時として「あなたはちがうもん」といった思想になり、排除していこうという思いにつながっていく。暴力のいちばんの初歩・きっかけって、「排除」して、孤立させること。

もし、この「あなたとはちがうもん」という点をお互いが理解できたら、お互いが共有しようとするのであれば、それはまず排除されることなく、「私はこう思う、でもあなたはこう思うんだね」という、多様な考え・知識につながっていくのではないかな。

その、お互いに理解していくためには？

一般的に言われている差別・偏見などを知り、実際に言われていることと本当の姿とを知り、自分の中にいかに誤解や固定観念があったかと気づいていくこと。

「とりあえず言われている事実」ではなく、「実際に自分が見つかった事実」を伝えて、もっと差別や偏見などをなくしていこうとすること。

APIS さんの今回のイベントについて、私自身の中でこのようなイメージがお話をいただいたときにわいてきて、ほぼ二つ返事で、「本」とならせていただくことを決めました。

もちろん、不登校に関するお話をさせていただきました。



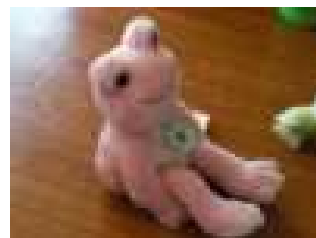
他にも、私自身が興味を持ったいろんなタイトルがあって、読みたかったのですが……。指定された時間中、全部の枠で「貸し出し可能」としてしまったので、空き時間をつくらなかったことを後悔しています……。1枠でも「貸し出し不可」時間をつくって、他の本を読みたかったな。

私として、その枠の最初に

- ・ 私の経験などをこれから話すが、これですべてと思ってほしくない。不登校と呼ばれる人が 100 人いたら、その様相は 100 様あるので。
- ・ 同じように、私が通ってきた道と同じようにすれば「解決」するとは思ってほしくない。

- ・ ちなみに自分自身は今でも解決したとは思っていない。以前と今の自分では、不登校になった理由が変わっている。きっと将来もう一度考え直したときに、理由が大なり小なり違ってくると思う。そういった意味では、私にとっては不登校をした年齢から倍の年齢になった今でも、「(不登校は)継続して考えていくこと」。
- ・ 特に私の経験を語ると、親と言われる立場の方にはグサリと刺さるような発言が多いと思う。つらくなったらこちらとしても注意するようにはする。

と、私を借りて読んでくださる方たちに通知したあと、どのような立場で私に興味をもっていたのか聞いてから、あとは流れで……。という感じでした。



学生さん(単にどういうことなのか知りたくって、という人もいました！むしろそういう人大歓迎！)、現在通信制高校で働いているという方、知り合いの子どもさんが不登校だという方、不登校の子どもさんをもつ親の方と付き合いがあるという方など、14 人ほどの方に読んでいただきました。

「『学校に行かないと将来がない』という情報は、どこから仕入れた情報なのか？ 言われだけを信じないで、実際に確かめた情報がほしかったし、自分にもそれを見極める力がほしかった」なんていうことも発言したような……。

基本私が話したがりのなので、そして皆さんが「話を聞こう」という空気ができていたので、思ったよ

りも楽しく過ごせ、また、発言したことで(質問されたことで)新たに得た気づきなどもあって、本当に有意義な時間でした。

APIS の皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

(2011年8月 ラヴ・ブログより)

APIS さんのサイト
<http://www.apis-npo.org/>

Voice

— 不登校を経験した立場として —

不登校について言われていること、経験してきたこと等、つづっていきます。(無断転載厳禁)
さて今回は、ちょっとちがった立場から、Q&A形式でお送りいたします。

フリースクールスタッフから見た不登校

林: かる〜く自己紹介をお願いします。

今川: 初めまして。NPO 法人フリースクールみなもの理事長、今川将征と申します。子どもからは「いますけ」とか、親しみ(?)を込めて「りじちよ〜」とか呼ばれています。フリースクールみなものが立ち上がったのは2004年の11月、その1年ぐらい前からいろんなフリースクールでボランティアをしていたので、フリースクールに関わるようになってからは8年近く立ちますね。

ラヴニールとの関係は、元々代表の林さんがラヴを作る前から知り合いで、立ち上げの際いろいろアドバイスをしたりしたことから、今でも付き合いがあります。

林: 本当に、お世話になっております☆ さて、まず、不登校の子どもに関わるようになったきっかけは？

今川: 僕の場合、フリースクールに興味を持ったきっかけが「不登校」ではなかったんですね。そうではなく、教育手法としての「フリースクール」(元々「フリースクール」は西洋の教育手法の一つ)に興味を持ち、そこからスタートして、日本の不登校支援としてのフリースクールを大学で研究し、その後実際に関わるようになりました。

ただ元々学校は好きではなく、「学校以外の教育はないのか」という思いからフリースクールを知ったこと、もう少し強いきっかけがあれば僕も不登校になってもおかしくなかったことを考えると、全く無関係でもないかとは思いますが。

林: 不登校の子どもに対して最初に抱いていたイメージを教えてください。

今川: 僕が学校に行っていた時にも不登校の子どもはいたけど、基本的にはおとなしい子が多かったかな…。ただ当時は僕も相当おとなしい、どちらかと言えばいじめられる方だったし、学校自体好きではなかったから「まあいろいろ思うところがあるんだろうなあ…」ぐらいにしか思っていなかったかな。

その後大学時代も、初期に触れた本が東京シューレの奥地圭子さんの本で不登校に肯定的だったこともある



ので、それほど偏見などは強い方じゃなかったかなと思います。あえて言うなら、人付き合いのうまい器用な子ではなく、どこか人間関係が不器用な子が多いのかな、とは思っていました。

あと能力的には、平均的にいろんなことをこなせる子ではなく、得意なことと苦手なことがはっきりしている子が多いかもな、と予測はしていました。

日本の学校では平均的にこなせる方が評価されるし、得意なものをひたすら伸ばすにはフリースクールの方が向いていると思う。

林：子どもと実際関わって、自分の中のイメージはどう変わったか。または、不登校の子と実際に関わる前に不登校に対するイメージが変わっていたとしたら、それはどんなきっかけだった？

今川：大きくは変わってないですね。フリースクールでいろんな子を見てきて、やはり前記のような子が多いとは思いますが。ただ当初の予想以上に、それぞれいろんな理由や事情から不登校になったんだな、とは思いました。

例えば、ぱっと見は明るく活発で人付き合いもよく、傍目には人間関係なども問題を抱えているようには見えない、そんな子が突然不登校になったりします。それは、多くの場合「人のいい自分を演じることに疲れた」という場合。そうした場合には、特に休息の場が大切になってくる。



また多い例としては、同学年の子と比べて極端に成長が早い、もしくは遅い場合。早すぎる場合は周りの子に合わせるのがつらくなるし、遅い場合は、正直なところいじめの対象になりやすい。こうしたケースは、異年齢の交流が容易（というかそれが当たり前）なフリースクールの方が育ちやすいでしょうね。

…と、一例を挙げてみたけれど、これでもごく一部。それぞれに異なった事情を抱えて不登校に

なっているのだから、それぞれの子どもに柔軟に接していくことが大切かな。

林：フリースクールの中で子どもと関わるうちに、どんなふうに変化が生まれ、それについて自分としてどう思ったの？

今川：不登校の子どもは、はじめはやはり元気がない子どもがほとんど。それは学校での様々な嫌



な経験、不登校であることを受け入れてもらえない、否定されたという思いから。そうではなく、不登校であることを肯定してくれる場に行くことで、少しずつ自信を取り戻し、明るくなっていく。これはフリースクールでは当たり前のように言われていることだけど、実際にその通りで、この点に関してフリースクールは高い成果を挙げていると言っていると思う。

でも、だからと言ってフリースクールが万能で学校がダメな所だとか、あるいは他の教育よりフリースクールが優れていると決めつけるべきではないと思う。

例えば最近思うことは、フリースクールが効果が高いのは、あくまで「学校が原因で不登校になった場合」だということ。結果として不登校にはなったけど、その原因が学校ではなく、例えば精神的な疾患であったり、家庭に主な要因があったりする場合には、フリースクールに来ることで若干安心するかもはしれないけれど、大きな改善にはつながらない。

だからこそ大切なのは、いろんな教育が共存すること。西欧諸国と比べて「学校しかない」日本は異常だけど、フリースクールを過剰に神聖視することも同じくらいおかしい。フリースクールや他のオルタナティブスクールが学校と同じように存在し、

その中で学校もまた、ある子ども達にとって有為な場になれば…、そんな社会を目指して活動しています。

もっとも、僕が生きているうちに達成できるかどうか分かりませんがね…(笑)

林： どうもありがとう☆

この、「Voiceー不登校を経験した立場としてー」では、不定期で、いろんな立場で不登校を経験した方の「生の声」を掲載していく予定です。掲載にあたっては、本人の承諾をいただいた上で掲載をしています。

個人名や年齢などが特定されると編集者が判断した場合、その箇所を編集し、再度本人に確認をとった上で掲載しています。

伝言板

○ 賛助会員・カンパのお願い ○

ラヴニールの活動のため、財政的援助をしていただけると、大変助かります。

ただいまご賛助いただいた資金は、冷暖房設備の充実に使用させていただきます。

南西のカド地にあるラヴニール…、冬は冬で、強烈な底冷えがする場所と変貌します。ガスストーブのスイッチを入れたら、室温表示が一桁だったこと、何度も。

また、夏になると夕方になればなるほど暑くなり、猛暑の中では本当に大変でした(1日締め切った部屋の室温は、いとも簡単に 40℃に達していました)。

ラヴニールとしては、ボランティアさんも含めた参加者の皆さんに快適に過ごしていただきたい、という思いから、賛助会費を募り、そのお金で冷暖房設備を購入しよう、と考えております。

皆さんからの暖かいお気持ちが、ラヴニールの活動をより充実したものへと発展させるきっかけとなります。

ご支援いただきました場合は、賛助のお礼として通信「ラヴ・ノート」と、イベント情報等を送らせていただきます。

ぜひ、支援をよろしくお願いいたします。

振込み先(郵便振替)

口座番号 00910-1-171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

それ以外の銀行から

ゆうちょ銀行 店名 ○九九店

預金種目 当座 口座番号 0171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

一口 3000 円／年 複数口のご応募
大歓迎です

郵便振替の場合、氏名、住所、電話番号、費目(賛助会費として)、通信へ寄付をいただいた方としての氏名掲載の可否(氏名の掲載可、イニシャルの掲載可、不可のいずれか)を備考欄に明記のうえ、よろしくお願いいたします。

○ ありがとうございます ○

賛助会費を3口いただきました。
活動に役立たせていただきます。

書籍、うちわ、電器の傘、エレキギターをゆずっていただきました。大切にに使わせていただきます。

○ 譲ってください！ ○

現在希望が出ているのは、下記のとおりです。ご家庭にあるもので、現在お使いになられていないものがありましたら、ぜひ、お譲りください。

下記以外にも、フリースクールの活動に役立ちそうなものがありましたら、ご一報ください。

こたつ、クッション、ミシン、座布団、布団、プレーステーション2の本体、ソフト、プレーステーションのコントローラ、充電式の掃除機、折りたたむことができる1人用の机 ……などなど

○ ボランティア募集のお知らせ ○

ラヴニールでは、ボランティアさんを募集しています。ボランティアをするにあたっては、特に必要な資格・学問などはありません。不登校について偏見がなく、子どもと一緒に楽しい時間を過ごしたい、子どもから何かを得たい、という気持ちがあれば、大歓迎です。

ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

○ ブログ・twitterのご紹介 ○

ラヴニールの日ごろの活動の様子を、ブログではできるだけ写真をつけて、twitterではできるだけリアルタイムで書き綴っております。

ラヴニールに関すること、フリースクール同士の共同でのイベント、会議のことなども、少々ながら掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

ひとこと

い～しや～き～いも～、おいもっ♪ そろそろ焼き芋が恋しくなってきましたネ。この前、すごく久しぶりにサッカー観戦に行ってきました。やっぱりスポーツはナマで観るに限るっ！ ルールを知らないスポーツでもナマで観てみたいっ！（ロコ）

先日、岸和田だんじり祭りに行ってきました。用事で、夜だけなんですけど、ちょうちんがキレイで少しだけでも行ってよかったなって思いました！（ボラ Y.W）

ラヴニールにボランティアに来て3ヶ月が経ちました。これといって何もできていませんが、いつのまにか私も癒しをもらってるみたいで楽しいです！（ボラ A.S）

編集後記

3、4ヶ月に1度は通信を発行するんだ！ と決めてちょっと頑張ってみました。この通信で賛助会員になっていただいた方たちに活動の報告を兼ねさせていただいていること、賛助会員でなくても、この通信を見ていただくことで「がんばってるよ！」と報告させていただくこと、フリースクールを立ち上げようと思ったきっかけをくれた人たちに「ありがとう！」という意味を込めさせていただくこと…。

正直ホームページよりも、労力をかけた分に対する顧客獲得率（という言い方は、あまり好きではないけど、ここでは他に適切なものが見つからないので使わせていただきます）は低いですが、通信にはそんな「お手紙」の役割があると思って、ちょっと大切にしていきたいと思っております。

さて、今回は前回よりも少しボリュームが多い、10ページ分の通信となりました。前回通信がオープンから1年と少しのあいだにあったものをまとめた8ページ分のものであったことを考えると、4ヶ月のあいだにそれなりに充実した活動を展開できたのかな、と。お泊まり会も開催しちゃいましたしね・・・(終わった今では、文字どおり「開催『しちゃった』』という気分です)。

あと、個人的には、皆さんの不登校経験談をお聞きするのが好きで。今回はちょっと視点を変えて、フリースクールスタッフから見た不登校を取り上げてみました。不登校の経験談を耳にするとき、親御さんや当事者だった人の経験談はよく聞けど、フリースクールスタッフとして「フリースクールで子どもはどう成長しているのか」ということを聞く機会ってそんなにないよな? と。前から聞いてみたいテーマでした。

次回はどんな「声」をお送りできるでしょうか?

志塾フリースクール「ラヴニール」

対象年齢 6歳から18歳
(高卒資格コースのみ20歳まで)

活動時間 月曜から金曜の10時から17時
ただし、水曜のみ15時まで
原則土・日、祝日、年末年始
お盆前後はお休みです
(変更の可能性あり)

入会説明 随時行っております
体験入会期間(2週間)は無料でご利用いただけます

代表 林 裕子

スタッフ 常勤1名、他非常勤数名

住所 544-0023

連絡先 大阪市生野区林寺2-25-24
JR大阪環状線寺田町駅
関西本線東部市場前駅、
ともに徒歩12分
他、あべの橋よりバスあり

Tel/fax 06(6776)2629
(活動時間外は留守番電話)

e-mail lavenir@view.ocn.ne.jp

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~lavenir/>

Twitter <http://twitter.com/#!/lavenir65>

ラヴニール通信「ラヴ・ノート」

発行日 : 2011年10月5日

発行者 : 志塾フリースクール「ラヴニール」

発行人・編集 : 林 裕子
